

# ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2021年度第3四半期決算説明資料

2022年1月31日

- ▣ 1. 2021年度第3四半期決算概要 P.3
- ▣ 2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数 P.4
- ▣ 3. サプライチェーン混乱の影響と対応 P.5
- ▣ 4. 2021年度通期見通し P.6
- ▣ 5. 競争力及びサステナビリティ強化へ  
向けた取り組み P.7
- ▣ 6. 参考資料（船隊構成、航路構成） P.8

# 1. 2021年度第3四半期決算概要

## □ 要点

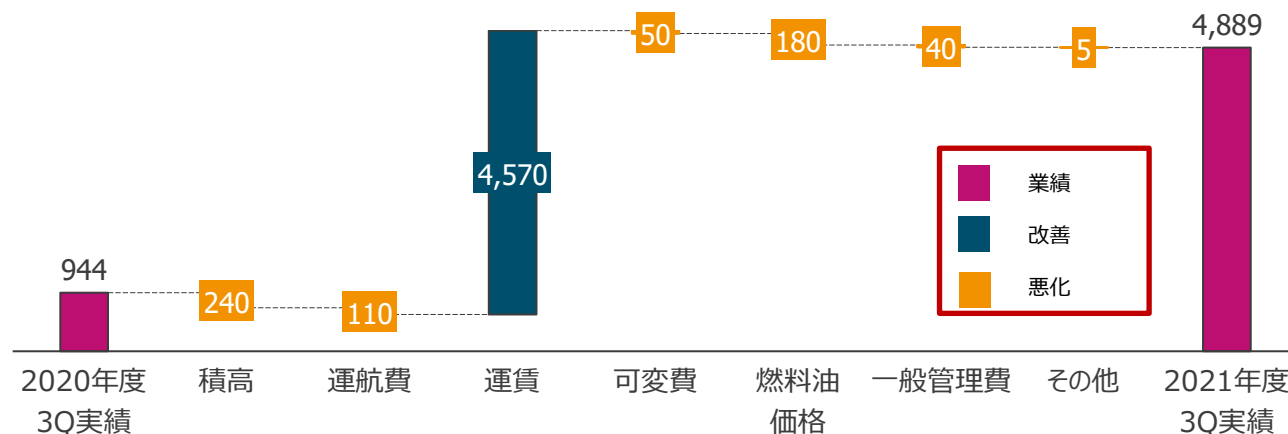
短期運賃市況の上昇により、前年同期比大幅に改善し、第3四半期に4,889百万US\$の黒字を達成（+3,945百万US\$）

- ・ 10-12月は国慶節や年末年始による季節要因の影響はありつつも、総じて旺盛な貨物需要が継続。
- ・ 一方、供給面では、サプライチェーン全体の混乱が継続しており、特に北米西岸は港湾や内陸の混雑が2Qよりもさらに悪化。
- ・ 以上から、短期運賃市況は2Qからさらに上昇、想定を上回る水準で推移。

## □ 2021年度第3四半期実績並びに対前年同期比較

(単位：百万US\$)

	2020年度			2021年度			3Q 対前年同期比		1Q-3Q 対前年同期比	
	上期 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	上期 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	5,917	3,757	9,673	13,333	8,332	21,665	4,575	122%	11,991	124%
EBITDA	1,342	1,293	2,635	7,496	5,286	12,782	3,993	309%	10,147	385%
EBIT	846	1,036	1,882	6,952	5,019	11,970	3,983	384%	10,088	536%
税引き後損益	682	944	1,626	6,760	4,889	11,648	3,945	418%	10,022	616%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$328	\$314	\$323	\$487	\$531	\$501	\$217	69%	\$178	55%
総燃料消費量 (K MT)	1,765	933	2,698	1,797	854	2,651	-79	-8%	-47	-2%
総積高 (K TEU)	5,734	3,204	8,938	6,285	2,939	9,224	-264	-8%	286	3%



- 積高：旺盛な貨物需要は継続するも混雑による欠航等の影響により減少。
- 運航費：主に船費の増加により運航費は増加。
- 運賃：長期運賃及び短期市況が大幅に上昇。
- 可変費：コスト削減は進展するも、港湾や内陸の混雑により追加費用が発生。
- 燃料油価格：油価は上昇。
- 一般管理費：代理店費用やシステム費用が増加。
- その他：概ね前年同期並み。

## 2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

(単位：千TEU)

航路別積高・消席率		2020年度							2021年度			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q
北米往航	積高	610	765	1,375	730	659	1,389	2,764	615	649	1,264	564
	消席率	96%	100%	98%	103%	102%	103%	100%	100%	100%	100%	100%
欧州往航	積高	347	419	766	402	389	791	1,556	436	443	879	411
	消席率	96%	98%	97%	102%	99%	100%	99%	100%	100%	100%	97%
北米復航	積高	327	328	654	368	330	698	1,352	328	309	638	258
	消席率	51%	43%	47%	54%	56%	55%	51%	54%	54%	54%	47%
欧州復航	積高	290	289	579	331	308	639	1,219	339	347	687	305
	消席率	75%	70%	73%	80%	80%	80%	76%	82%	78%	80%	69%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2020年度							2021年度			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q
北米往航		110	119	115	140	157	148	132	185	247	216	285
欧州往航		106	103	104	125	280	201	153	327	451	389	539

- 積高・消席率：北米航路の積高は2Q比で国慶節や年末年始の影響等により減少するも、消席率は満船を維持。前年同期比では西岸ターミナル混雑がさらに悪化しており積高は減少。  
欧州航路は2Q比で季節要因の影響により積高、消席率は低下。前年同期比では積高は概ね前年並みに推移するも消席率はスケジュールの乱れによる影響を受けた。
- 運賃指数：前年同期比で運賃市況は大幅に上昇。2Q比でもさらに上昇。

# 3. サプライチェーン混乱の影響と対応

発生事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 消費財を中心に、10-12月の世界的な貨物需要は堅調に推移。アジア発北米向け航路の10、11月の荷動きは対前年3%程度増加、また、アジア発欧州向け航路の10、11月の荷動きは対前年6%程度増加。</li> <li>➢ 旺盛な貨物需要、労働力不足、また、COVID-19による影響も引き続き残り、世界的に港湾・内陸での混雑が悪化。</li> <li>➢ トラック、シャーシ不足等によるコンテナ引き取りの遅延が引き続き発生。</li> <li>➢ 世界各国の移動制限は一部改善の兆しが見えるも、船員交代に関しては未だ困難な状況が残る。</li> </ul>
------	---



ONEの 対応	Customer service oriented	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ eコマースの新機能“ONE QUOTE” などデジタルソリューションの機能を拡充。</li> <li>➢ ONE Mobile APPの新たなホームページを開設。顧客の利便性を向上しタイムリーな情報を提供。</li> </ul>
	Operation excellency	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 調達済みのリーファーコンテナの投入はほぼ完了。さらに追加の調達を実行。</li> <li>➢ 自社スペースの最大運用、及び追加船舶を活用したコンテナ回送を徹底。</li> <li>➢ 船の遅延と貨物量急増による積み残しの解消のため、船舶の追加投入並びに増速を含めた運航最適化を実施。</li> <li>➢ ターミナルとも協業しコンテナの早期引き取りおよび返却の働きかけを実施。</li> <li>➢ 船員交代のための臨時寄港にも最大限対応、船主との協力を強化。</li> </ul>
	Quality of employee	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 全世界のオフィスで柔軟な在宅勤務を実施。</li> <li>➢ 社員同士の繋がりを維持し、地域社会に貢献するためのCSR活動を継続。</li> </ul>



サプライチェーン全体に対して許容量を超える負担がかかっている状況が継続。  
 ONEとしては社会インフラを維持する責任を果たすべく最大限の対応を実施。  
 3Qにおいてはスペース不足は続くもコンテナ不足は発生せず。

# 4. 2021年度通期見通し

## □ 要点

**2021年度通期業績は旺盛な貨物需要と運賃市況の改善を背景に税引き後利益15,398百万US\$を見込む。**

- 旺盛な貨物需要と短期運賃市況の改善を背景に、3Qには税引き後利益4,889百万US\$を達成。4Qは旧正月等の季節要因及びサプライチェーンの混乱による欠航の影響などが懸念されるが、堅調な荷動きが続く見込みで、税引き後利益3,750百万US\$を予想。

## □ 2021年度通期見通し

(単位：百万US\$)

\*2021年10月末時点

	2021年度 (前回予想*)		
	上期 実績	下期 予想	通期 予想
売上高	13,333	12,080	25,413
EBITDA	7,496	5,630	13,126
EBIT	6,952	5,100	12,051
税引き後損益	6,760	5,000	11,760

2021年度 (最新予想)				
上期 実績	3Q 実績	4Q 予想	下期 予想	通期 予想
13,333	8,332	7,380	15,712	29,045
7,496	5,286	4,080	9,366	16,862
6,952	5,019	3,830	8,849	15,800
6,760	4,889	3,750	8,639	15,398

通期 (対前回予想)	
増減	増減 (%)
3,632	14%
3,736	28%
3,749	31%
3,638	31%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$487	\$589	\$541
-----------------	-------	-------	-------

\$487	\$531	\$582	\$556	\$520
-------	-------	-------	-------	-------

-\$21	-4%
-------	-----

	2020年度 実績		
	上期	下期	通期
売上高	5,917	8,480	14,397
EBITDA	1,342	3,513	4,855
EBIT	846	2,987	3,832
税引き後損益	682	2,802	3,484

通期(対前年)	
増減	増減 (%)
14,648	102%
12,007	247%
11,968	312%
11,915	342%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$328	\$335	\$331
-----------------	-------	-------	-------

\$189	57%
-------	-----

## 5. 競争力及びサステナビリティ強化へ向けた取り組み

- 既存の極東ロシア直行サービス (KRX) に、Korea Russia Express 2 (KRX2)を追加することでサービスを拡充。
- ONE QUOTEのさらなる機能を追加、サービス範囲を拡充。12月からはONE QUOTEにおいて新たにReefer as Dry(RAD)の運用を開始。顧客からの依頼に迅速に対応すべく対象国も徐々に拡大。
- 欧州RHQにて、欧州アフリカにおける内陸オペレーションに関して環境マネジメントシステム (ISO14001) を取得。
- 船主のSEASPAN と合同海難事故対応訓練を実施。
- より環境に優しい海事産業を目指す取り組みの一環として、PSA Corporation Ltd (PSA)と共同で星港ジュロン島ターミナルにおける環境負荷の低いバージサービスを開始。
- “Sustaining Crew Welfare Campaign” への参加に続き、船員の円滑な交代やメンタルケアを支援するThe Mission to Seafarersへ £30,000を追加寄付し、プラチナドナーに。
- 乳がん啓発の一貫として#ONEPINKRIBBONチャリティーを実施。コンテナ100本に乳がん啓発のシンボルであるピンクリボンをあしらい、1年を通じて早期検査の重要性の認知向上を目指す。社内外でCSR活動を実施すると共に、収益の一部を寄付。

# 6. 参考資料（船隊構成・航路構成）

## 船隊構成

Size		1)2021年9月末	2)2021年12月末	2)-1)
>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	0
	隻数	6	6	0
10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	456,600	456,600	0
	隻数	33	33	0
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	110,200	110,200	0
	隻数	11	11	0
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	365,698	365,698	0
	隻数	41	41	0
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	163,984	138,307	▲ 25,677
	隻数	25	21	▲ 4
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	77,632	66,463	▲ 11,169
	隻数	14	12	▲ 2
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	103,169	93,122	▲ 10,047
	隻数	21	19	▲ 2
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	67,271	62,952	▲ 4,319
	隻数	15	14	▲ 1
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	29,130	24,874	▲ 4,256
	隻数	7	6	▲ 1
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	74,356	80,602	6,246
	隻数	28	30	2
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	10,415	12,093	1,678
	隻数	6	7	1
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	10,663	10,573	▲ 90
	隻数	10	10	0
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	0	618	618
	隻数	0	1	1
合計	キャパシティ(TEU)	1,589,718	1,542,702	▲ 47,016
	隻数	217	211	▲ 6

## 航路構成

(2021年度3Q 往復スペースの構成)

